

史跡指定100周年に関わる国分寺市立学校の取組



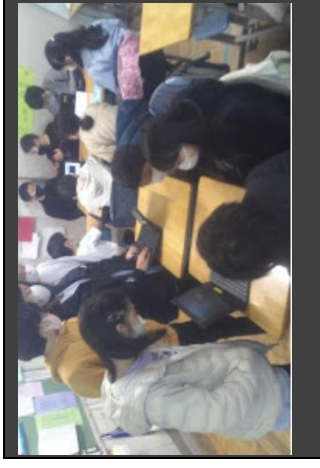
【第三・第五・第八・第十小学校】
史跡指定100周年をイメージし、七重の塔をかたどったパンを給食で提供しました。



【第一・四中学校】
武蔵国分寺史跡駅伝に、生徒チーム、教員チームが出場し、大会を盛り上げることに貢献した。



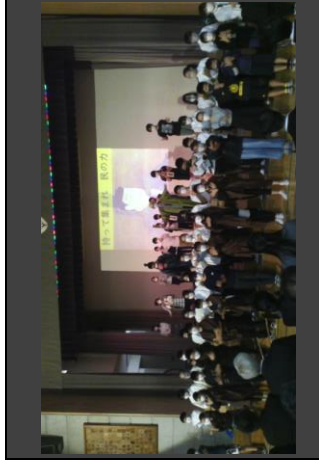
【第四・五中学校】
「武蔵国分寺跡 史跡指定100周年記念オープニングイベント」で、吹奏楽部による演奏を発表した。



【第二小学校】
総合的な学習の時間に、「国分寺の魅力発信しよう」をテーマとして、個々に課題を設定し、国分寺市の魅力を発信するためのプレゼンテーションを計画した。3年生を対象に発表会を行った。



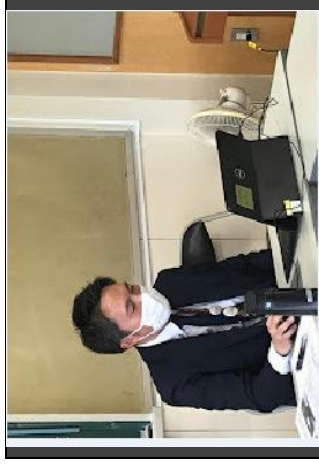
【第三小学校】
学習発表会の展示発表として、「武蔵国分寺跡史跡指定100周年記念館」を、6年生が総合的な学習の時間で取り組んだ。



【第四小学校】
学習発表会・創立70周年記念式典で、「武蔵国分寺の歴史」について劇仕立てで発表した。



【第五小学校】
サマースクールの地域の方をゲストティーチャーに招き、「武蔵国分寺の造営と身近な国分寺の歴史」について学んだ。



【第一中学校】
「聖天皇と武蔵国分寺～諸国最大級の国分寺が今に伝えること」をテーマに、ふるさと文化財課文化財保護係長による講演会をPTA主催で行った。

地域に親しみ、地域に学び、地域を考え、地域に貢献する「国分寺学」の推進 ～人と学びが循環するまちを目指して～

令和5年度第1回
総合教育会議 資料No.1-4
学校指導課

1 国分寺学とは

次代の国分寺市を担う子ども達が、市民の方々の地域に対する思いを受け止め、主体的に地域と関わり、地域に根差した探求的な学習を進めることにより、地域に親しみ、地域に学び、地域を考え、地域に貢献することを目的とした学習である。
国分寺学における学びを通して、「課題解決力」「コミュニケーション力・協働力」「社会参画力」に関する資質・能力を育む。

2 目指す児童像・生徒像

- ・地域に根差した学習を通して、地域を知り、地域を大切にする思いを育み、世界を見つめ、未来を拓いていく児童・生徒
- ・地域と関わり、主体的に考え、行動し、よりよい地域づくりに参画しようとする児童・生徒

3 国分寺学創出の背景

第2次国分寺市教育ビジョンでは、基本理念に「互いの人格を尊重し、思いやりのある心豊かな市民」「自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな市民」「健康でたくましく、ともに生きる市民」を掲げ、その育成に努めることを目標としている。また、施策の方向性Ⅰに「生きる力の育成」を位置付け、目指す学びのまちの姿を「人と人がつながり、学びが循環するまち」としている。
これらの背景を踏まえ、子どもたちが、地域に親しみ、地域に学び、地域を考え、地域に貢献できるような資質・能力を育むために、これまでの授業実践や小中連携教育の取組を充実・発展させた「国分寺学」を創出する。
また、現在の小中連携教育の取組を整理し、本市の教材の価値を精査するとともに、地域の教材であるボランティアや授業協力者等の地域人材を発掘し、持続可能な学校支援体制を構築することを目標に、現在4校のコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）の拡充を推進する。

4 「令和の日本型学校教育」※との関連

○育むべき資質・能力
一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができる。

○協働的な学び
「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう、探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは多様な他者と協働しながら、他者を価値ある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」を充実することも重要

○「子供の学び」義務教育
児童生徒同士の学び合い、多様な他者と協働した探究的な学びなどを通じ、地域の構成員の一人や主権者としての意識を育成。

○今後の方向性
学校だけでなく地域住民等と連携・協働し、学校と地域が相互にパートナーとして一体となって子供たちの成長を支えていく。

(※中教審答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」令和3年1月)

5 構想図

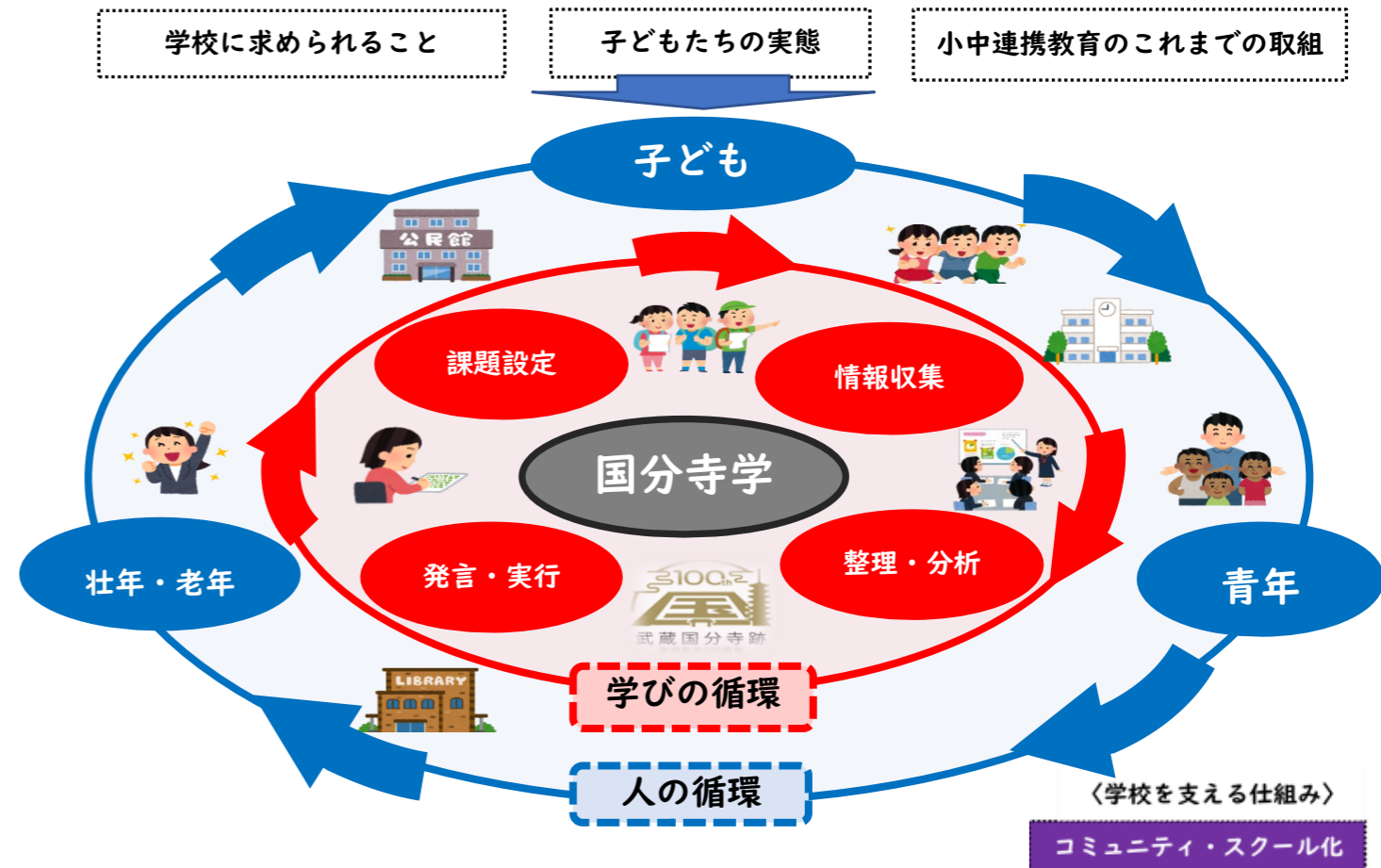
第2次国分寺市教育ビジョン 基本理念

- ・互いの人格を尊重し、思いやりのある心豊かな市民
- ・自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな市民
- ・健康でたくましく、共に生きる市民

○ 施策の方向性Ⅰ…「生きる力の育成」

「令和の日本型学校教育」で 育むべき資質・能力

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができる。



(1) 学びの循環 ～地域の特性を生かした探求的な学習～

学習過程「課題設定」「情報収集」「整理・分析」「発言・実行」を通して、自己を見つめ直し、地域について調べたり、関わったりする中で、地域を大切にする思いを育み、新たな課題の探求に向けて主体的に考えようとする姿勢を養う。

(2) 人の循環 ～地域に親しみ、地域に学び、地域を考え、地域に貢献する～

子どもたちは、学校での国分寺学における学びを経て、青年、壮年・老年へと歩みを進める。その過程で、地域社会でスポーツに関わったり、図書館や公民館等において学びや交流を深めたりする。やがて、自らボランティアやスポーツや講座の指導者として、地域の学びに貢献していく。

「新たな国分寺市史」編さん事業について

1 令和5年度施政方針

令和6年11月に迎える市制施行60周年を見据えた取組につきましては、市制施行50周年から大きく変貌を遂げた今の国分寺、また、その先の未来へ向けて発展していく国分寺の魅力を紹介できるよう、「市制施行60周年記念市勢要覧」の発行に向けた内容の検討を進めてまいります。

あわせて、本市の魅力発信の取組と連携しつつ、郷土愛を育み、後世に歴史を継承するため、新たに市史編さんの担当職を設置し、市制施行60周年を契機とした市史の再編さんに向けた検討に着手するとともに、『国分寺市ビジョン』に掲げる「文化都市国分寺」に込められた想いを踏まえ、これまでの歴史を受け継ぎ、文化の薫り高いまちを目指してまいります。

2 過去の市史編さん事業の経過と刊行物

(経過)

- 昭和49年、市制10周年を記念してスタート
- 昭和50年、市史編さんの方針が庁内で決定、教育委員会内に市史編さん室を設置
- 昭和50年12月、国分寺市市史編さん条例を定め、この条例に基づき郷土史に造詣の深い13名の委員による市史編さん委員会を設置
- 昭和55年、市史編さん委員会において、「市史編さん計画」の最終案として、市史全三巻を時代順に刊行することを決定

(刊行物)

- 上巻（原始・古代・中世） 昭和61年3月31日刊行
- 中巻（近世） 平成2年3月31日刊行
- 下巻（近代・現代） 平成3年3月31日刊行

3 新たな市史編さんの方向性

(1)新たな市史編さんの目的

- ①多くの市民が国分寺の自然、歴史、文化、民俗等に関心を持ち、各地域の成り立ちやルーツに対する理解を深め、今後の学校教育、社会教育、そして国分寺の地域づくり、まちづくりに活かすこと

- ② 国分寺に関する有形、無形の歴史遺産の調査、研究、収集、整理、及び保存を図り、その成果を現在の市民に公開するとともに、未来の市民に継承すること
- (2)新たな市史編さんの内容
- ① 現市史刊行後の調査等で明らかになった事実
 - ② 現市史刊行後の歴史
- を基本に、現市史刊行後に課題として抽出された事項も踏まえ、地域資料等の調査や研究等をベースとして、地域に生きた人々の視点から、広く編さんしていく。
- 通史編は、市民にわかりやすく親しみやすいことを基本とし、資料編は、史実を詳細に後世へ継承することを基本とする。
- (仮称)市史編さん推進委員会において、「(仮称)市史編さん基本方針」を策定する(R5年度末策定予定)。
- (3)新たな市史編さんの開始
- 市制施行60周年(令和6年)をスタートとする。

4 小中学生に向けた取組

- (1)第3次教育ビジョン策定に向けた小中学生向けアンケート項目(予定)
- ①「あなたは、あなたが住んでいる地域で、昔にどんなできごとがあったのか、知りたいと思いますか？」
 - ②「あなたは、私たちの親や先祖が、昔どのような暮らしをしていたか、興味がありますか？」
- (2)小学校副読本の編集に参加
- 小学校3年生の社会科副読本「わたしたちの国分寺」の令和8年度改訂に向けて、市史編さん担当職員がその編集に携わることで、郷土の歴史に関心を持ち、各地域の成り立ちやルーツに対する理解を深める学びを推進する。
- (3)子ども市史の編さん
- 小中学生に向けた子ども市史を編さんし、すべての小中学生への配布を検討する。
- (4)市史編さん作業への参加
- 市史編さん作業に小中学生が参加する場を検討する。また、高校生については、協力員としての参加を促す。

国分寺市市制施行60周年記念市勢要覧の概要について

1 概要

- ・「国分寺の現在から未来へ」をテーマとし、前回発行の平成26年から現在に至るまでの10年間、これからの10年間に焦点を当てた内容とする
(例 国分寺駅北口再開発, 新庁舎建設, 新府中街道)
- ・写真を多用し, まちの魅力, 変わりゆくまちの姿, コロナ禍を乗り越えた市民の姿を視覚的に市内外に伝える
- ・「国分寺市ビジョン」分野別の都市像と連動した誌面構成とする

コンセプト

～現在から未来へ～

この10年の国分寺市のあゆみを, まちの移り変わりゆく姿や市民の活動風景により振り返ると同時に, この先未来のこくぶんじを創造していく「国分寺の現在から未来へ」をテーマとした市制施行60周年記念誌

国分寺市のアピール

- ・国分寺駅北口再開発や新庁舎建設など, この10年で大きく変わった新しい国分寺のまち
- ・新型コロナウイルス感染症まん延などの難局の中, 課題と向き合っって新たな活路を見出してきた市民活動

アピールターゲット

- ・国分寺市民 より市を盛り上げる市民に!
- ・近隣自治体住民 興味を持ってもらって国分寺市民に!

内 容

- ①目次
- ②市長挨拶
- ③市概要
- ④観光大使メッセージ
- ⑤ひとと文化をはぐくむまち
- ⑥活躍できる成長のまち
- ⑦いきいき健やかなまち
- ⑧心安らく快適なまち
- ⑨未来につながる持続可能なまち
- ⑩年表市のあゆみ
- ⑪今昔写真
- ⑫行政・議会
- ⑬データでみる国分寺市

⑤～⑨ 国分寺市ビジョンと連動

ピックアップ！

- ⑤「すべての人を大切にするまち宣言」
- ⑥「こくベジ」
- ⑦「福祉の総合相談窓口」
- ⑧「国分寺駅北口駅前広場」
- ⑨「新庁舎」

2 市史編さん事業との連携

- ・年表「市のあゆみ」ページの内容確認を依頼
- ・往年の写真と現在の写真を比較する「今昔写真」ページに掲載する写真の提供を依頼

3 仕様

- ・A4判，フルカラー，36ページ
- ・紙媒体で1,000部発行，電子ブックを市ホームページへ掲載

4 発行日

- ・令和6年11月予定